

2004 年度

細川 世界選手権代表決定

びわ湖毎日マラソン (滋賀県：大津市)

細川道隆

マラソン 2時間09分10秒



日本人最高の3位でゴールする大塚製薬の細川道隆選手。大津市皇子山陸上競技場

第60回びわ湖毎日



細川選手(大塚製薬)世界選手権へ

びわ湖毎日マラソン 日本人最高の3位

世界陸上選手権(八月、ヘルシンキ)の代表最終選考会を兼ねたびわ湖毎日マラソンは六日、大津市皇子山陸上競技場

着のコースで行われ、細川道隆選手(大塚製薬)が2時間9分10秒で日本人最高の3位に入り、世界選手権の代表に決まった。(21面に関連記事)

優勝は2時間9分0秒でジョセフ・リリ(ケニア)がスタートした。世界選手権の日本代表になるには「2時間9分

30秒を切り、日本人最高順位」の条件がある。代表に決まったのは、細川選手で三人目。

細川道隆選手の話 日本人トップをとれてうれしい。記録も狙ったが、最後の10分は向かい風がきつかった。世界の切符を手にするのが目標だった。世界選手権に向けては監督と相談して目標を設定したい。

.....

細川道隆(ほそかわみちたか)選手 明石南高1年で陸上をはじめ、京産大からNTT西日本を経て、2002年に大塚製薬へ移籍。初マラソンだった04年2月の東京国際マラソンでは、2時間10分38秒で6位に入った。173センチ、61キログラム。兵庫県明石市出身。28歳。

# 細川、世界選手権へ

## びわ湖毎日マラソン

# 向かい風に耐え快挙

とまった前日本記録保持者の藤田敦史(富士通)は2時間12分30秒で10位。アテネ五輪銅メダルのパンドレレイ・テリマ(ブラジル)は途中棄権した。

世界選手権代表には、既に昨年福岡国際優勝の尾方剛(中国電力)、今年2月の東京国際優勝の高岡寿成(カネボウ)が決定している。残り2枠は今大会、福岡、別府大会毎日、東京(カネボウ)が決定して成る。

激しい向かい風の中、細川は競技場の手前で失速したが、2時間9分10秒で3位に入った。4位奥谷、5位松宮も2時間9分10秒台と健闘した。

6日、滋賀県大津市皇子山陸上競技場発着のコースで行われた世界陸上選手権(8月、ヘルシンキ)を兼ねたびわ湖毎日マラソンで、細川道隆(大塚製薬)が2時間9分10秒で日本人最高の3位に入り、同選手権の日本代表に決まった。優勝は2時間9分0秒でジョセフ・リリ(ケニア)。

順位	選手名	所属	時間
1	ジョセフ・リリ	ケニア	2時間9分0秒
2	ホセ・リオス	スペイン	2時間9分10秒
3	細川道隆	大塚製薬	2時間9分10秒
4	奥谷松志	中国電力	2時間9分10秒
5	松宮孝志	カネボウ	2時間9分10秒
6	尾方剛	中国電力	2時間12分30秒
7	高岡寿成	カネボウ	2時間12分30秒
8	藤田敦史	富士通	2時間12分30秒
9	パンドレレイ・テリマ	ブラジル	途中棄権
10	尾方剛	中国電力	2時間12分30秒

4大会の成績で、14日に開く日本陸連理事会、評議員会で決定する。

【経過】中間点まで大きな先頭集団で進んだレースは、29歳過ぎでリリ、リオス、細川の3人が先行し、奥谷、松宮が追う展開に。残り1kmでリリがスパイット、後続を振り切り、ゴールした。

## 実を結んだ高地合宿

29歳を過ぎて、優勝争いは3人に絞られた。日本人では細川だけが残り、このまま2時間9分30秒さえ切れば、自動的に世界選手権代表に決まる位置につけた。

だが向かい風にペースは上がらない。4位争いの奥谷、松宮との差も思うように開かず、「精神的に安心できず、しんどいレースだった」と何度も後ろを振り向いた。

残り1kmで2時間6分台の記録を持つリリ、前回優勝のリオスに振り切られたが、2時間9分10秒の3位でゴール。「世界切符を取るのを目指した。日本人トップをとれてうれし」と素直に喜んだ。

今年に入って2度、中国・昆明で走り込んだ。日本の女子は高地合宿は当たり前の強化手段だが男子の効果は疑問視されてきた。だが日本陸連の男子マラソン部長を務める大塚製薬の河野匡監督が「男子でも効果はあるはず」と積極的に採用。細川は「大学時代から何度かやって、結果が出ていた」と高地合宿の適性もあり、この試みが実を結んだ形だ。

兵庫・明石南高から京産大を経てNIT西日本入り。陸上部の監督に2002年に大塚製薬に移籍後、着実に成長。河野監督には「30歳でビックリになりたい」と宣言しているという。2度目のマラソンで世界への切符を手にした28歳のランナーが、その一歩を踏み出した。

29歳を過ぎて、優勝争いは3人に絞られた。日本人では細川だけが残り、このまま2時間9分30秒さえ切れば、自動的に世界選手権代表に決まる位置につけた。

だが向かい風にペースは上がらない。4位争いの奥谷、松宮との差も思うように開かず、「精神的に安心できず、しんどいレースだった」と何度も後ろを振り向いた。

残り1kmで2時間6分台の記録を持つリリ、前回優勝のリオスに振り切られたが、2時間9分10秒の3位でゴール。「世界切符を取るのを目指した。日本人トップをとれてうれし」と素直に喜んだ。

今年に入って2度、中国・昆明で走り込んだ。日本の女子は高地合宿は当たり前の強化手段だが男子の効果は疑問視されてきた。だが日本陸連の男子マラソン部長を務める大塚製薬の河野匡監督が「男子でも効果はあるはず」と積極的に採用。細川は「大学時代から何度かやって、結果が出ていた」と高地合宿の適性もあり、この試みが実を結んだ形だ。

兵庫・明石南高から京産大を経てNIT西日本入り。陸上部の監督に2002年に大塚製薬に移籍後、着実に成長。河野監督には「30歳でビックリになりたい」と宣言しているという。2度目のマラソンで世界への切符を手にした28歳のランナーが、その一歩を踏み出した。



35歳付近で競り合う(左から)2位のホセ・リオス、3位の細川道隆、1位のジョセフ・リリ(代表撮影)

世界選手権代表  
4位・奥谷が有力  
最後の1枠は接戦  
尾方剛(中国電力)、高岡寿成(カネボウ)、びわ湖2時間9分10秒で日本勢2位の4位に食い込んだ奥谷と、2時間9分10秒で5位の松宮が候補となる。4人の中では奥谷が記録

10分56秒で2位の大崎悟史(NIT西日本)、別府大分を2時間9分58秒で制した入船敏(カネボウ)、びわ湖2時間9分10秒で日本勢2位の4位に食い込んだ奥谷と、2時間9分10秒で5位の松宮が候補となる。4人の中では奥谷が記録

的に最も良く、細川に3秒差まで迫った終盤の粘りも評価されており、最有力といえそう。

最後の1枠は接戦となりそうだが、大崎、松宮の争いとなる可能性が高い。大崎は4人の中でタイムが最も悪いが、福岡は強風だったため「1分くらい差し引いて評価してもいい」との声がある。どれだけ上位争いに参加したかという点では松宮もペースダウンすることなく、細川を追い続けた松宮が浮上。入船に対しては優勝に一定の評価しつつも30歳で失速したことを不満とする声が多い。日本陸連の強化委員会は「落選した人間が納得できる選考をする」方針だ。

新妻に捧ぐ 2時間9分10秒 日本人最高3位

世界選手権代表を  
決めた細川(左)と握手する  
夫人(撮影・岡本)

# 細川 世界切符



苦勞人の細川道隆(28) 大塚製薬が、持ち味の粘り強い走りで見事な走りを見せた。日本人で唯一最後まで先頭集団に食い付き、競場を猛進した奥谷昌(富士重工)を3秒差で振り切って、2時間9分10秒で日本人トップの3位に入った。優勝はジョゼフ・リリ(ケニア)、アテネ五輪銅メダルのハンデルレイ・リマ(ブラジル)は33手前で棄権した。



故障、十二指腸潰瘍、移籍…支えてくれた瑠美夫人の前で粘走

0526びわ湖毎日マラソン成績

順位	選手名	所属	タイム
1	ジョゼフ・リリ	ケニア	2:08:13
2	アテネ	ケニア	2:08:18
3	細川道隆	日本	2:09:10
4	奥谷昌	日本	2:09:13
5	ハンデルレイ・リマ	ブラジル	2:09:16
6	...	...	...

51 4月26日、兵庫・明石で、みちのこ1976年、61歳、血圧は110/60、血糖は110。

◆選考事情 出場枠は5人、2時間9分以内で日本人1位の条件をクリアした尾方、高岡、細川は代表に決定。びわ湖で細川は3秒差で日本人2位の奥谷が続く有力候補。設定タイムをクリアできなかったが、別大会で優勝した入船、びわ湖で設定タイムを切ったもの日本人3位に終わった松宮、福岡で2位の大崎の3人も候補に残っている。14日の日本陸連の理事発表に発表される。

「国入りの切符」 細川は「ゴールテープを切るまで苦しみ、猛進する奥谷に苦戦して詰め寄られた。一時は0.5秒差の差が縮まらなかった。上体を歪め、顔をゆがめ、疾走して逃げ切った。ゴールタイムはわずか3秒差。しんどいレースでした。笑顔も出なかった。」

「苦勞人である。NNT西日本では練習折角と故障に泣いて伸び悩んだ。02年スダッタ。しかし悪考を識すれば、入が乱れる。スタートから日本人を真なるまで苦しんだ。猛進する人だけを見て前へ前へ走らした。それが好結果に繋がった。日本人でただ一人、最後まで先頭集団に食い付いた。優勝したリリに引寄せられた。」

「苦勞人である。NNT西日本では練習折角と故障に泣いて伸び悩んだ。02年スダッタ。しかし悪考を識すれば、入が乱れる。スタートから日本人を真なるまで苦しんだ。猛進する人だけを見て前へ前へ走らした。それが好結果に繋がった。日本人でただ一人、最後まで先頭集団に食い付いた。優勝したリリに引寄せられた。」

◆新婚旅行 養育料があった。昨年10月に瑠美夫人と結婚した。今日から欧州へ新婚旅行に出発する。その前に世界選手権切符を、苦難の時期を支えてくれた妻にプレゼントした。結婚生活では30歳でビッグな宣言していましたと瑠美夫人は明かした。

昨年9月に岡ひさ子ともを痛め、約4カ月も練習ができなかった。今年1月には中国・昆明の1800mの高地で合宿。故障しなかった結果を出す決意でした。世界選手権について「これからはあります。苦難を乗り越え、細川が表舞台へ駆け上がった。」

〔宮藤正徳〕